Panasonic®

取扱説明書

（メンテナンス編）

フルカラーデジタル複合機

品番 DP-C262/C262F
DP-C322/C322F

WORKIO™

このたびは、パナソニック フルカラーデジタル複合機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
■特に『取扱説明書（基本編）』の「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

●イラストはオプションを装着した例です。詳しくは「取扱説明書（基本編）」を参照ください。

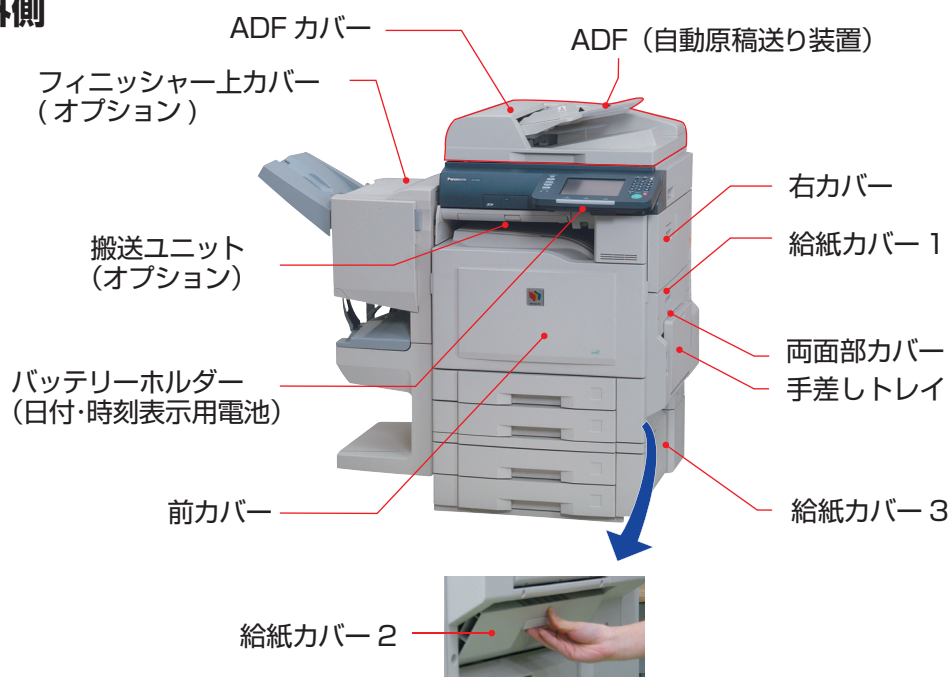
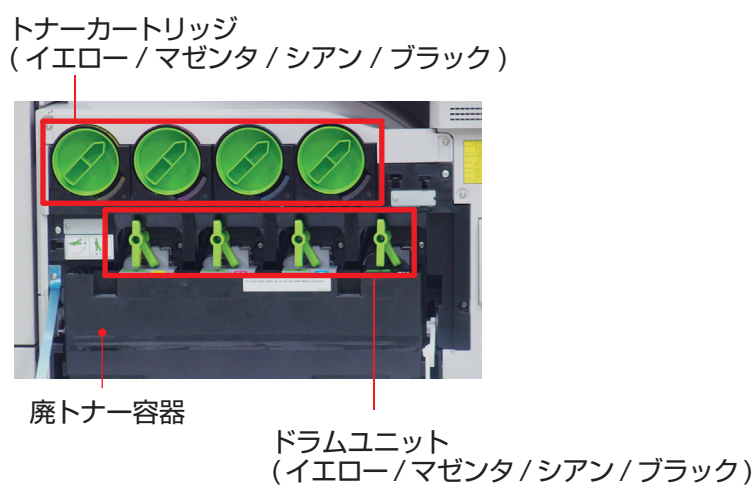
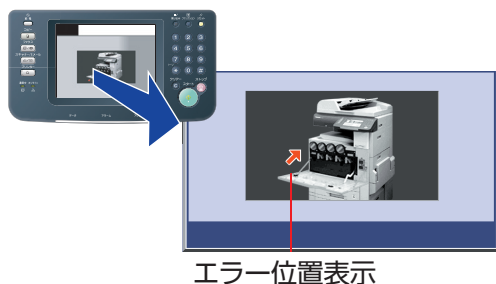
上手に使って上手に節電

目次

目次 2
Uコードが表示されたとき 4
Uコード 4
Jコード/Eコードが表示されたとき 6
Jコード/Eコード 6
トナーカートリッジの交換 8
廃トナー容器の交換/LSUレンズガラスの清掃 10
ステープルの交換 (FQ-SS32) 12
ステープルの交換 (DQ-SS35) 14
用紙づまりの処置 18
給紙部 (給紙カセット1) 18
自動両面部 19
定着部/排出部 20
搬送部 21
給紙部 (給紙カセット2) 21
給紙部 (給紙カセット3、4) 22
1ビンフィニッシャー部 23
1ビンサドルフィニッシャー部 24
ADF部 26
パンチ屑を捨てる 28
電池を交換する 30
日付と時刻を設定する 32

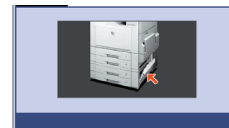
U コードが表示されたとき

■ U コード

●外側

●内側

Uコード、エラー位置（目安）

● Uコードエラーが発生すると、タッチパネルディスプレイ上にエラーの処置手順が 1 枚、または複数枚のコマ送りの写真で表示されます。ディスプレイ表示と取扱説明書上の手順に従って、正しく処置をしてください。（p.8 ～ 11）

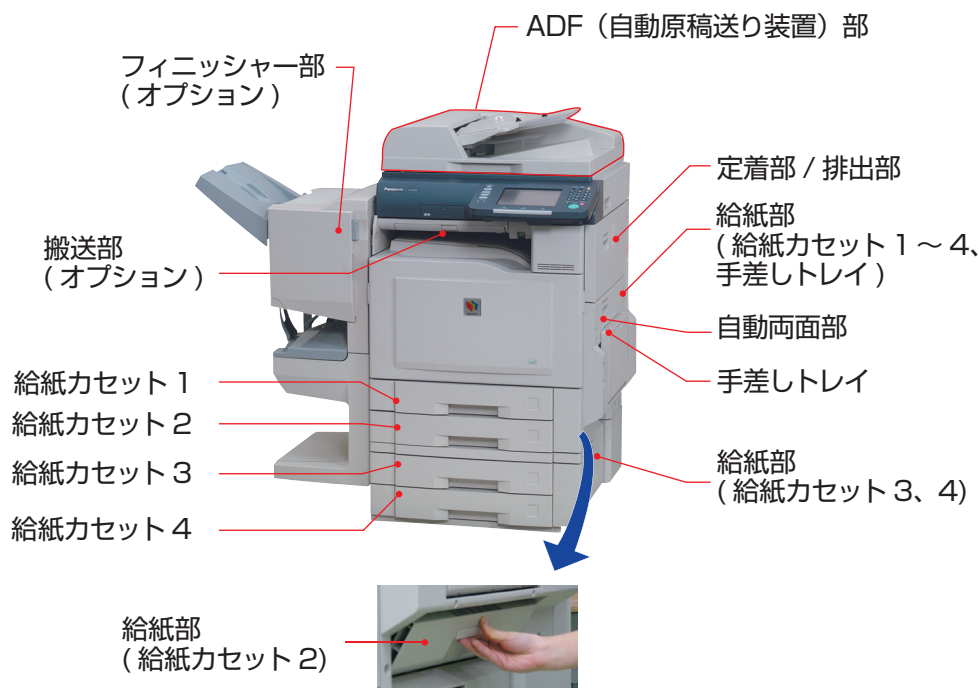
例：前カバーが開いています。

例：給紙カバー 2 が開いています。

例：給紙カバー 3 が開いています。

エラーコード	U コードの位置（目安）
U1	前カバーが開いています。
U4	フィニッシャーが引き出されています。
U6	両面部カバー、給紙カバー 1、または右カバーのいずれかが開いています。
U7	給紙カバー 2、または給紙カバー 3 が開いています。
U8	搬送ユニットのカバーが開いています。 ＊フィニッシャー（オプション）が装着されている場合
U12	フィニッシャー上カバー、またはステープルカバーが開いています。 ＊フィニッシャー（オプション）が装着されている場合
U13	トナーが少ないか、なくなっています。 （イエロー、マゼンタ、シアン、ブラック）
U14	廃トナー容器が一杯です。
U15	廃トナー容器が装着されていません。
U20	ADF カバーが開いています。
U21	ADF で読み込み中に ADF が開けられました。
U25	トナーが固くなっています。トナーカートリッジを取り出し、よく振ってください。
U28	サービス実施会社に連絡してください。

Ｊコード /E コードが表示されたとき

■ＪコードＪ/E コード

E コード(E#-##:## は数字)が表示された場合は、機械に異常が発生しています。エラー番号を控え、電源を切り、サービス実施会社にご連絡ください。

お願い

- 用紙づまりしている場所がタッチパネルディスプレイに表示されます。つまっている用紙を取り除いたあと、この表示が消えていることを確認してください。用紙を取り除いても、また別の場所が表示される場合は、その用紙を取り除き、表示が消えていることを確認してください。
- 次のような場合は、無理に用紙を取り除かず、本機の電源を切ってサービス実施会社にご連絡ください。
  - ・用紙を取り除けない
  - ・見えない場所で用紙づまりが起こっている

用紙づまり位置（目安）

用紙づまり位置表示

- Ｊコードエラー（用紙づまり）が発生すると、タッチパネルディスプレイ上にエラーの処置手順がコマ送りの写真で表示されます。ディスプレイ表示と取扱説明書上の手順にしたがい正しく処置してください。(p.18 〜 27)

例：両面部

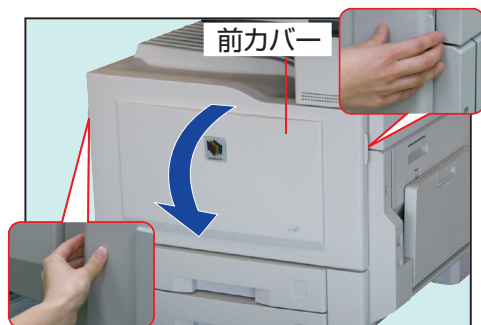
エラーコード	用紙づまりの位置 (目安)	参照先
J00	手差しトレイ (用紙を引き抜き、給紙カバー 1 を一度開き、閉じる)	−
J01, J11, J21	給紙カセット 1、給紙部（給紙カセット 1 ～ 4、手差しトレイ）	p.18
J02, J12, J22	給紙カセット 2、給紙部（給紙カセット 2）	p.21
J03, J13, J23	給紙カセット 3、給紙部（給紙カセット 2 ～ 4）	p.22
J04, J14, J24	給紙カセット 4、給紙部（給紙カセット 3、4）	p.22
J06, J26	給紙部（給紙カセット 2）	p.21
J07, J08, J09, J27, J28	給紙部（給紙カセット 2 ～ 4）	p.21、22
J18, J33, J35	給紙部（給紙カセット 1 ～ 4、手差しトレイ）	p.18、21、22
J19	自動両面部、給紙部	p.18、19
J82, J83, J88	自動両面部、定着部 / 排出部	p.19、20
J30, J31, J38, J39, J40, J42-J45	定着部 / 排出部 / 給紙部（給紙カセット 1 ～ 4、手差しトレイ）	p.20
J41, J50, J51, J52, J86	定着部 / 排出部 / 搬送部 (オプション)	p.20、21
J80, J81, J87	定着部 / 排出部	p.20
J54-J56	搬送部 (オプション)	p.21
J60-J66	フィニッシャー部 (オプション)	p.23 ～ 24
J70-J79, J92-J94	ADF 部	p.26

- 「用紙づまりの処置」の説明では、各ページに上記のエラーコード（J##）を記載しいますが、実際には、用紙づまりが複数の位置で発生していることがあります。
  用紙づまりを取り除いたあとに用紙づまりのエラーコード（J##）が消えていることを確認してください。

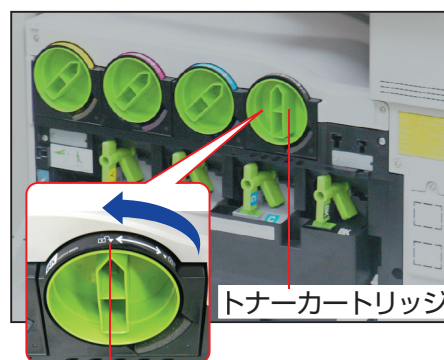
トナーカートリッジの交換

お願い

- トナーは、必ず当社指定品をお使いください。
- トナー交換メッセージが表示されたら、新しいトナーカートリッジを用意し、早い時期に交換してください。
- 黒色トナーがなくなった場合、コピー、プリント、ファクス（受信）の機能は使えません。
- 黒色以外のカラートナーがなくなった場合は、白黒でのコピー、プリントの機能だけが使えます。
- トナーカートリッジは、冷暗所に保存してください。
- トナーカートリッジは、使用するまで開封しないでください。
- トナーカートリッジは、開封後は速やかにお使いください。
- トナーやトナーカートリッジのお取り扱いについては、『取扱説明書（基本編）』の「安全上のご注意」もあわせて参照してください。

1 機械の動作が停止していることを確認し、前カバーを開く

- トナーカートリッジの色は次のとおりです。

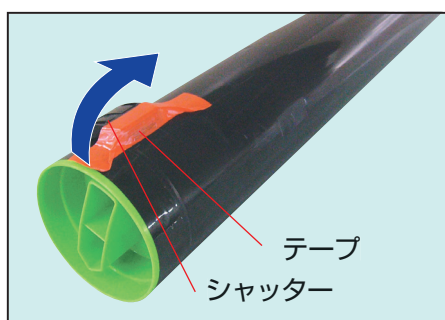
イエロー　マゼンタ　シアン　ブラック

2 ロック解除マークの位置にくるまで、トナーカートリッジを静かに左方向に回す

ロック解除マーク

3 トナーカートリッジを引き出す

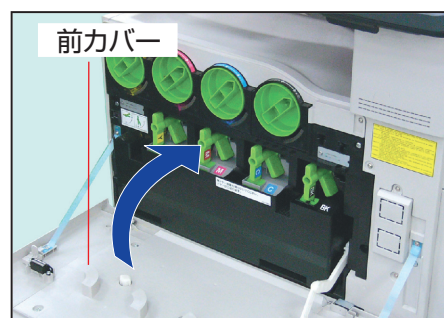
4 新しいトナーカートリッジをよく振る

● 上下に振り、さらに逆さまにして振ってください。

5 テープを矢印の方向に静かにはがす

● トナー漏れの原因になりますので、シャッターは開けないでください。

6 新しいトナーカートリッジの矢印ラベルを、本体のロック解除マークに合わせるようにして、トナーカートリッジを奥まで挿入する

7 トナーカートリッジを止まるところまで静かに右方向に回す

8 前カバーを閉じる

● トナーカートリッジが正しくセットされていないときは、前カバーが閉まりません。

9 トナーカウンターをリセットする

● トナーカートリッジを交換したあとは、トナーカウンターが自動的にリセットされます。

● トナーカウンターを手動でリセットする方法については、取扱説明書（ファンクション設定編）の「カウンター確認」をご覧ください。

廃トナー容器の交換 /LSU レンズガラスの清掃

廃トナー容器は、次の手順で交換してください。なお、廃トナー容器の交換時に、LSU レンズガラスも清掃してください。

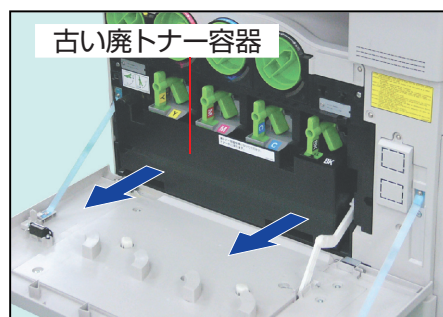
お願い

- 廃トナー容器の交換と LSU スリットの清掃は、同時に行ってください。
- 廃トナー容器の中のトナーは、使用しないでください。
- LSU レンズガラス清掃後は、クリーナーを前カバーの元の位置に戻してください。
- 汚れたクリーナーは使用しないでください。
  クリーナーについては、お買い上げの販売店または、サービス実施会社へご相談ください。

1 機械の動作が停止していることを確認し、前カバーを開く

2 ①新しい廃トナー容器の箱を開き、袋のジッパーを開く（この袋は手順４で使います。）

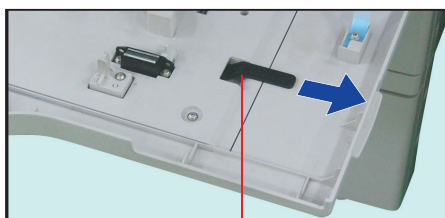
②廃トナー容器を箱から取り出し、ビニールキャップを取り外しておく

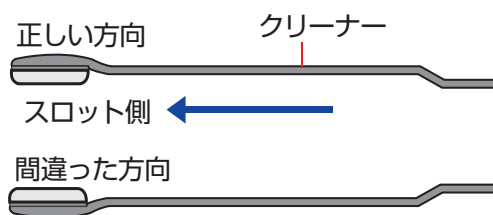
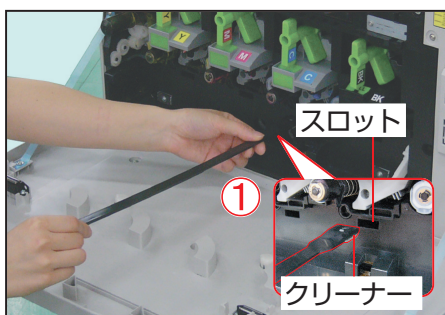
3 古い廃トナー容器を引き抜く

- 廃トナー容器を傾けたり、トナーをこぼしたりしないよう注意してください。
- 廃トナー容器を外した後に、トナーがこぼれ本体が汚れていたときは、水を湿らせ、しっかり縛った布で拭き取ってください。

4 ①引き出した廃トナー容器を、前カバーの上に置く

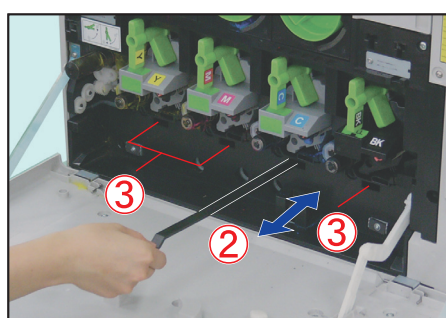
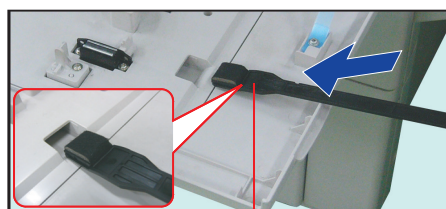
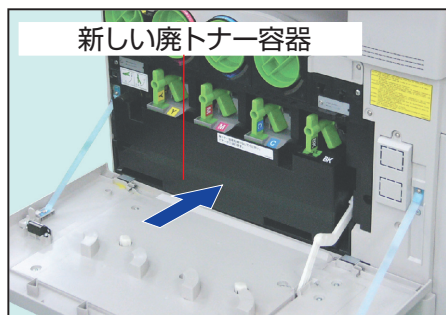
②手順２で箱から取り出しておいたビニールキャップを、①の廃トナー容器に被せる

5 手順２の箱に、取り出した廃トナー容器を入れ、ジッパー付き袋のジッパーを閉じる

6 前カバーの内側からクリーナーを取り外す

7 LSU レンズガラス（４か所）を清掃する

①LSU レンズガラスのスロットにクリーナーのフェルト面を下にして差し込む

②クリーナーを何度か出し入れする

③手順①，②と同じ操作で、残りの３か所のLSU レンズガラスをクリーニングする

④クリーナーを取り出す

8 前カバーの内側にクリーナーを戻す（フェルト面を上にして）

9 新しい廃トナー容器を止まる所まで押し込む

10 前カバーを静かに閉じる

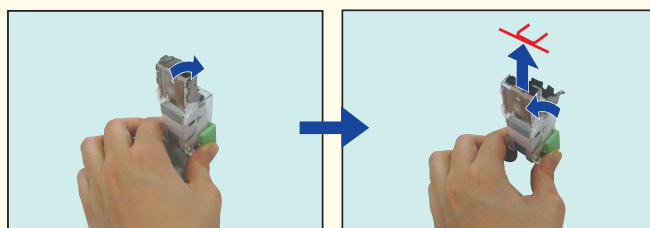
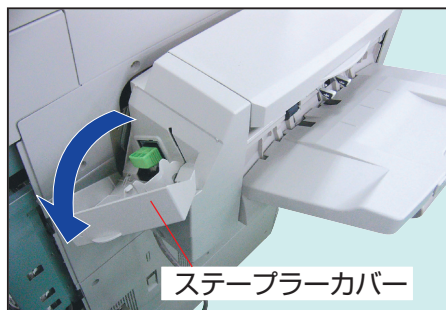
ステープルの交換 (FQ-SS32)

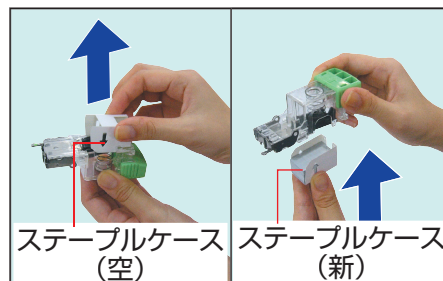
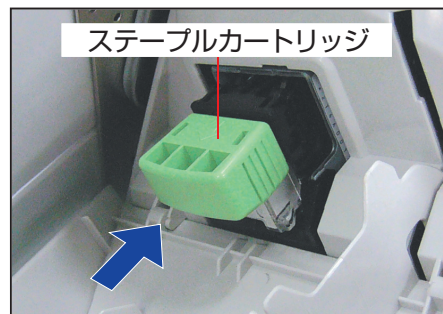
ステープルは、次の手順で交換してください。

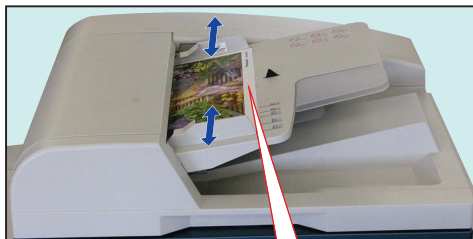
ステープルの表示が追加されます。

ステープルカートリッジ（FQ-SS32）

お願い

● ステープルがつまったときは、タッチパネルディスプレイにステープル針づまりのエラーメッセージが表示されます。
この場合は、右図のようにして、つまったステープル針を、ステープルカートリッジから取り除いてください。

1 ステープラーカバーを開く

2 ステープルカートリッジを引き抜く

3 新しいステープルケースに交換する

4 ステープルカートリッジを挿入する

5 ステープラーカバーを閉じる

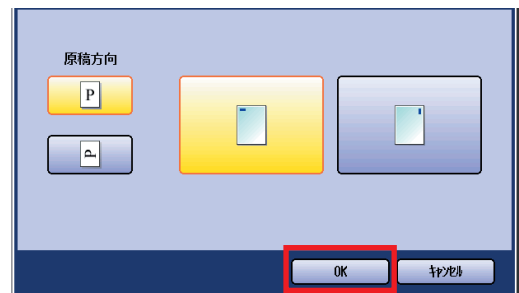
6 原稿を ADF に置き、ステープルが正常に動作するかどうか確認する

コピーする面を上にしてセットします。
・普通紙で 10 枚（A4）程度。

7 [詳細設定] を押す

8 [仕上げ] を押して、[ステープルソート] を押す

① [仕上げ] を押す

② [ステープルソート] を押す

9 [OK] を押す

10 <スタート>を押す

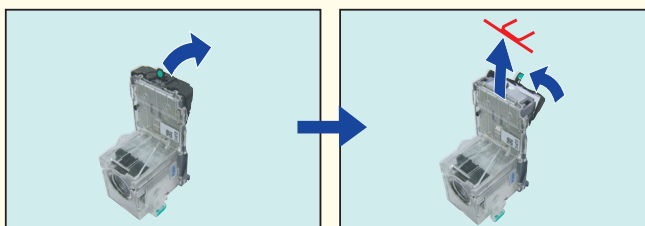
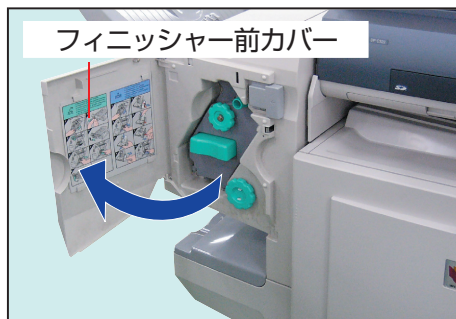
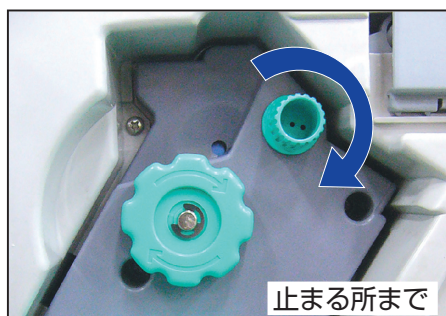
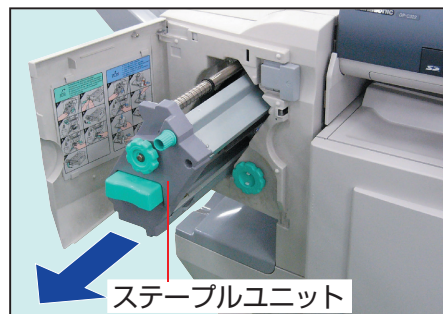
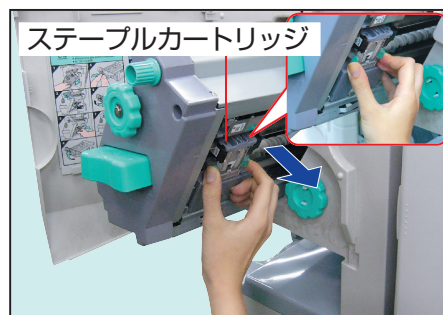
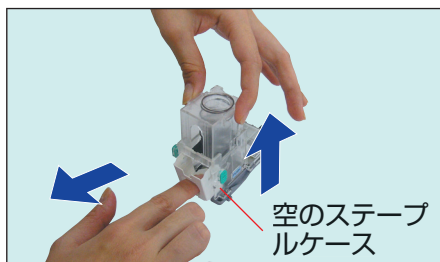
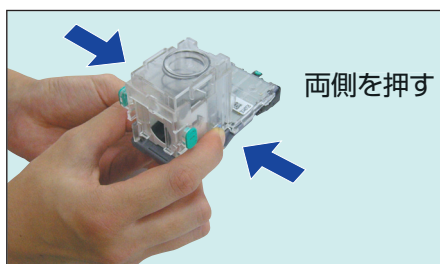
ステープルの交換 (DQ-SS35)

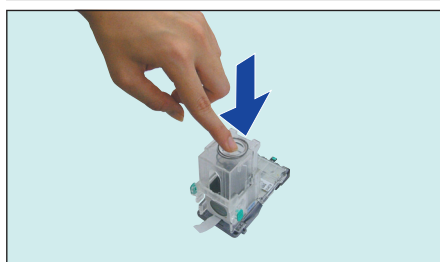
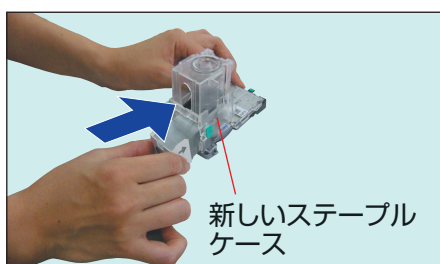
ステープルは、次の手順で交換してください。

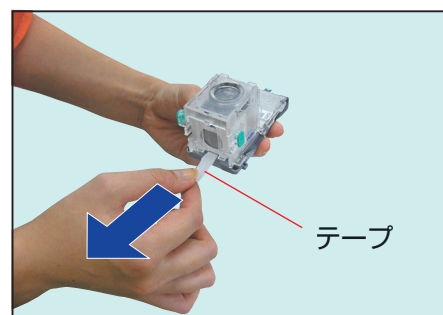
ステープルの表示が追加されます。

ステープルカートリッジ（DQ-SS35）

お願い

- ステープルがつまったときは、タッチパネルディスプレイにステープル針づまりのエラーメッセージが表示されます。
  この場合は、右図のようにして、つまったステープルを、ステープルカートリッジから取り除いてください。

1 フィニッシャー前カバーを開く

2 ステープルユニットのノブを止まるところまで右方向に回す

3 ステープルユニットを引き出す

4 緑色のボタンを押して、ステープルカートリッジを引き出す

5 空のステープルケースを取り外す

- ステープルカートリッジの両側を押し、カバーを取り外します。

6 新しいステープルケースを取り付ける

- ステープルカートリッジに新しいステープルケースを挿入し、カバーを押して閉じます。

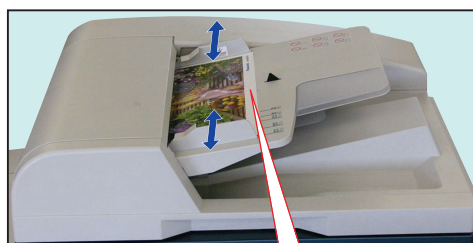
7 テープを取り外す

8 ステープルカートリッジを挿入する

- ロックされるところまで全体を挿入してください。

9 ステープルユニットを挿入する

次ページへ続く ▶▶▶

10 フィニッシャー前カバーを閉じる

11 原稿を ADF に置き、ステープルが正常に動作するかどうか確認する

コピーする面を上にしてセットします。
・普通紙で 10 枚（A4）程度。

12 [詳細設定] を押す

13 [仕上げ] を押して、[ステープルソート] を押す

14 [OK] を押す

15 <スタート>を押す

用紙づまりの処置

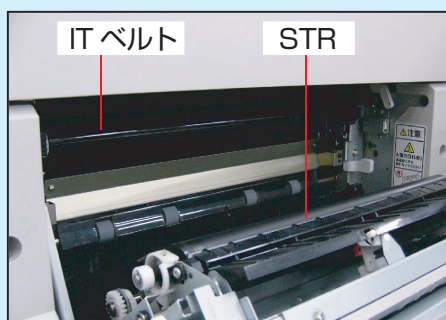
■ 給紙部（給紙カセット 1）

J01, J18, J19, J21, J33, J35

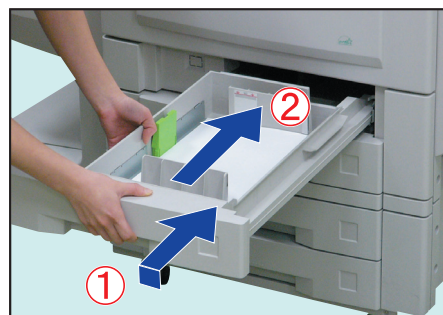
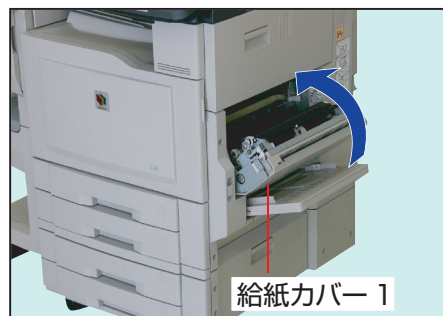
1 給紙カバー 1 を開く

2 紙づまりを取り除く

お願い

画質に影響する場合があります。
IT ベルト、STR に触れないでください。

3 給紙カセット 1 を両手で少し持ち上げ、引き抜く

4 紙づまりを取り除く

5 給紙カセット 1 をセットする

6 給紙カバー 1 を閉じる

7 手差しトレイを閉じる

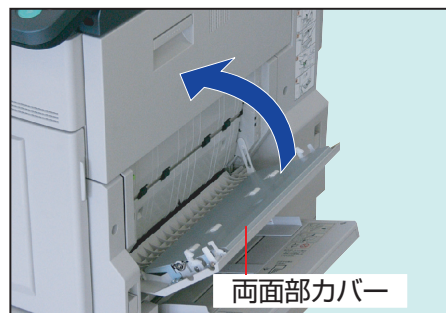
■ 自動両面部

J19, J82, J83, J88

1 手差しトレイを開く

2 両面部カバーを開く

3 紙づまりを取り除く

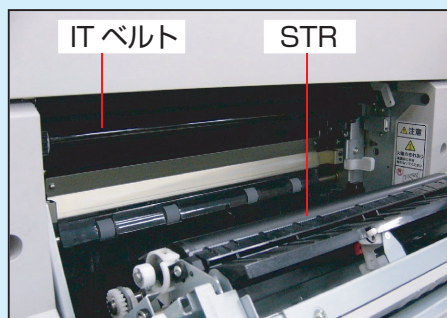
4 両面部カバーを閉じる

5 手差しトレイを閉じる

■ 定着部 / 排出部

J30, J31, J38-J45, J51, J80-J87

1 給紙カバー 1 を開く

お願い

画質に影響する場合があります。
IT ベルト、STR に触れないでください。

2 右カバーを開く

3 用紙送りつまみを回す

- 用紙送りつまみを回すと、つまっている用紙が下方に排出されます。
- つまった用紙を上に向けて引っ張らないでください。搬送部にトナーが付着したり、次の用紙に汚れが付着します。手順にしたがって用紙を取り除いてください。

4 右カバーを閉じる

5 紙づまりを取り除く

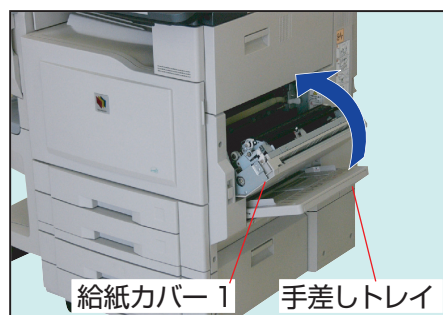
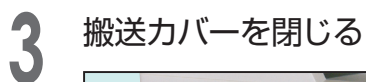
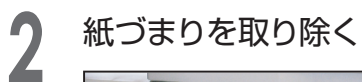
6 給紙カバー 1 と手差しトレイを閉じる

■ 搬送部

J50-J52, J54-J56

1 搬送カバーを開く

2 紙づまりを取り除く

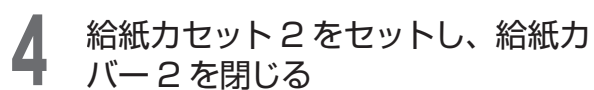
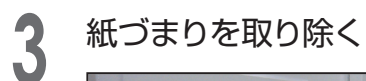
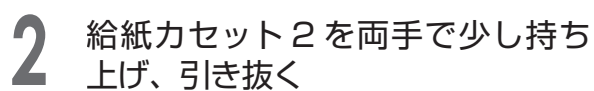
3 搬送カバーを閉じる

■ 給紙部 (給紙カセット 2)

J02, J06, J07, J12, J22, J26, J28, J33, J35

1 給紙カバー 2 を開く

2 給紙カセット 2 を両手で少し持ち上げ、引き抜く

3 紙づまりを取り除く

4 給紙カセット 2 をセットし、給紙カバー 2 を閉じる

■ 給紙部 (給紙カセット 3、4)

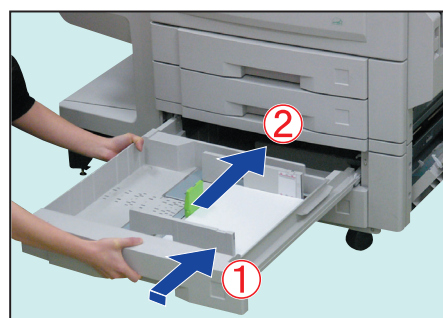
J03, J04, J08, J09, J13, J14, J23-J28, J33, J35

1 給紙カバー 3 を開く

2 紙づまりを取り除く

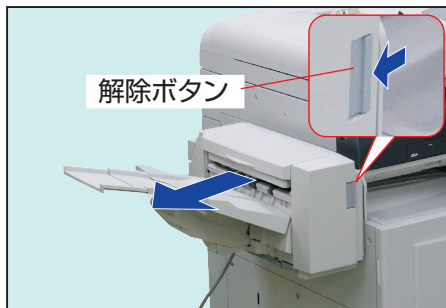
3 給紙カセット 3、4 を両手で少し持ち上げ、引き抜く

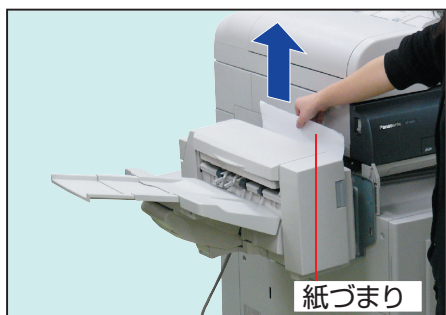
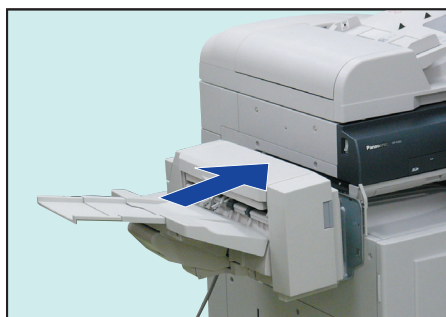
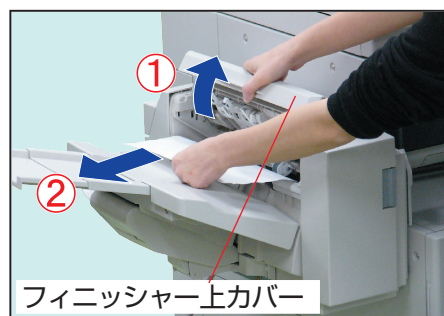
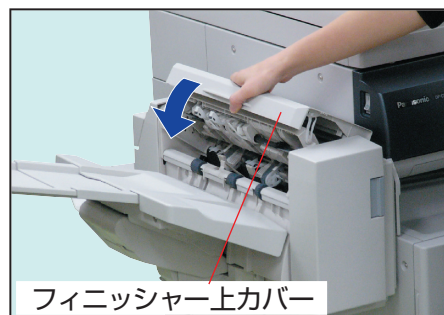
4 紙づまりを取り除く

5 給紙カセット 3、4 をセットする

6 給紙カバー 3 を閉じる

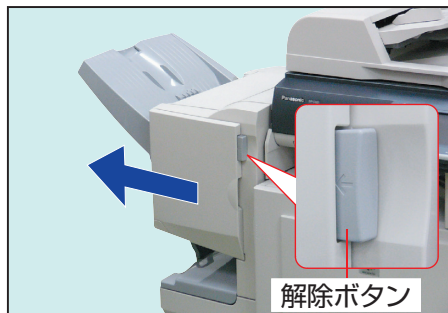
■ 1 ビンフィニッシャー部

J60-J66

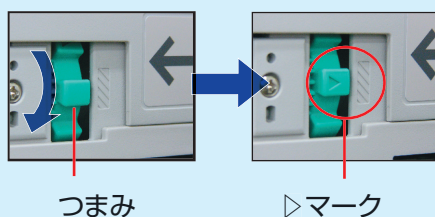
1 フィニッシャーを左側に移動する

- 本体からフィニッシャーが離れるよう、解除ボタンを押します。

2 紙づまりを取り除く

3 ロックされるところまでフィニッシャーを移動する

4 フィニッシャー上カバーを開き、紙づまりを取り除く

5 フィニッシャー上カバーを閉じる

■ 1 ビンサドルフィニッシャー部

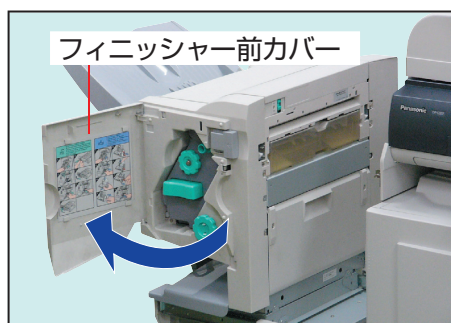
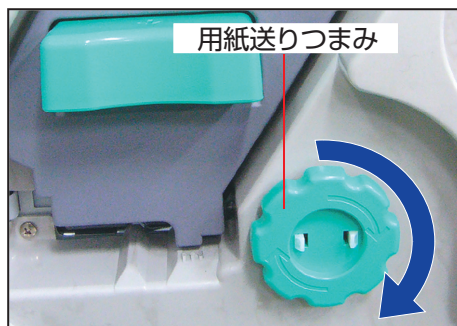
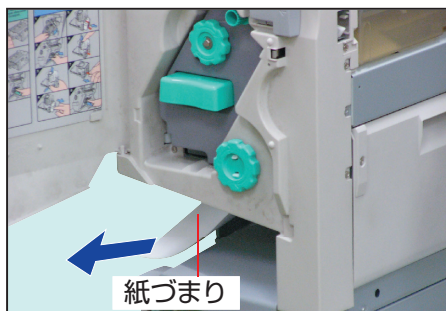
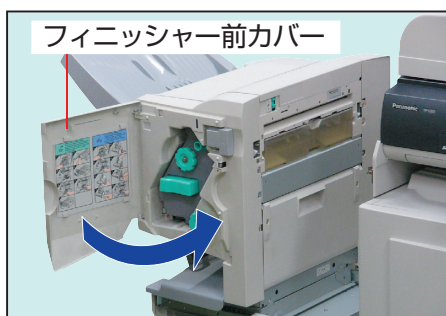
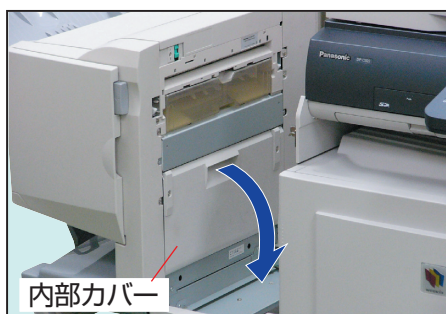
J60-J66

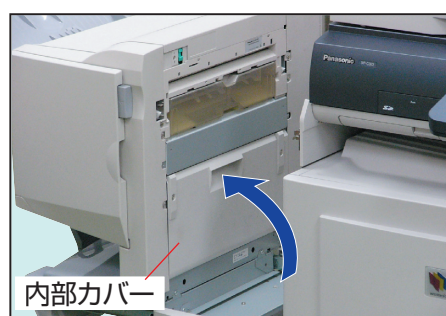
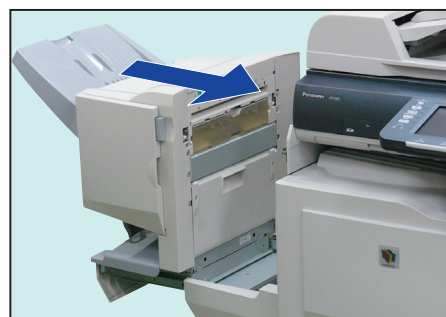
1 フィニッシャーを左側に移動する

● 本体からフィニッシャーが離れるよう、解除ボタンを押します。

2 上カバーを開ける

オプションのパンチユニット装着時：
つまみの▷を下のように合わせる

3 紙づまりを取り除く

4 上カバーを閉じる

5 フィニッシャー前カバーを開ける

6 用紙送りつまみを右方向に回す

7 紙づまりを取り除く

8 フィニッシャー前カバーを閉じる

9 内部カバーを開ける

10 紙づまりを取り除く

11 内部カバーを閉じる

12 ロックされるところまでフィニッシャーを移動する

■ ADF 部

J70-J79、J92-J94

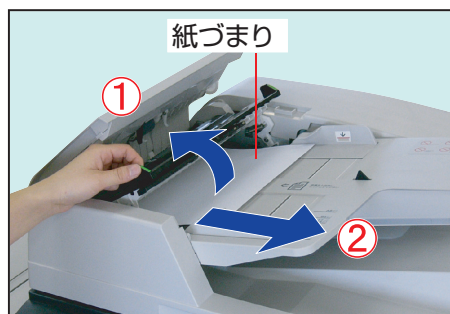
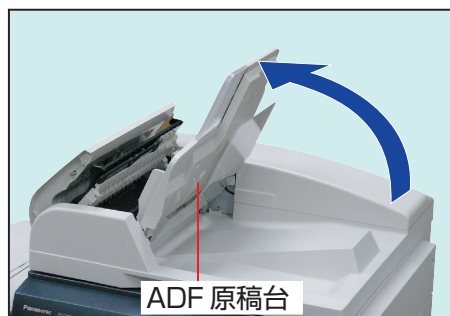
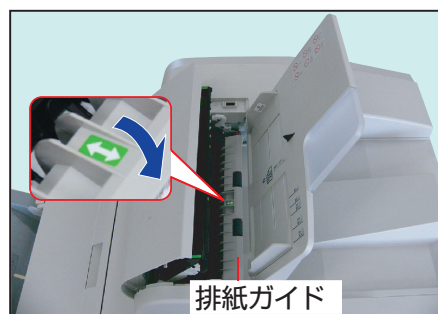
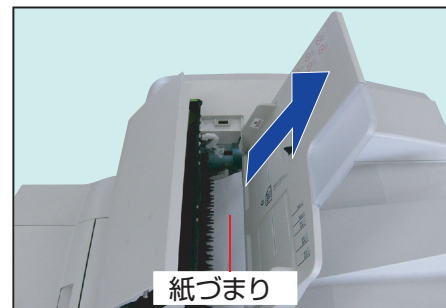
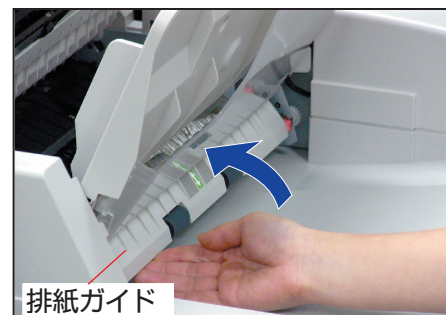
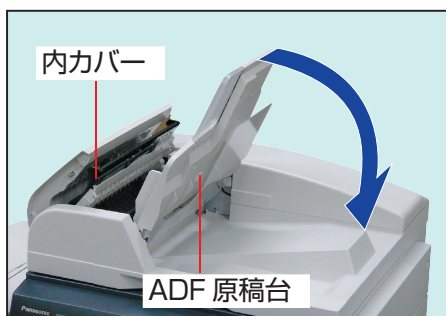
1 ADF カバーを開き、紙づまりを取り除く

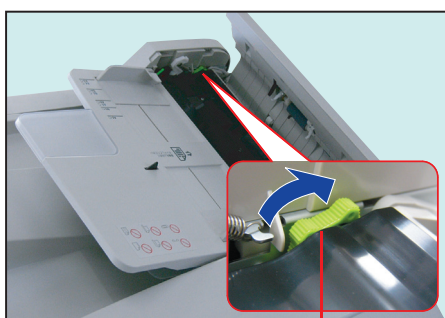
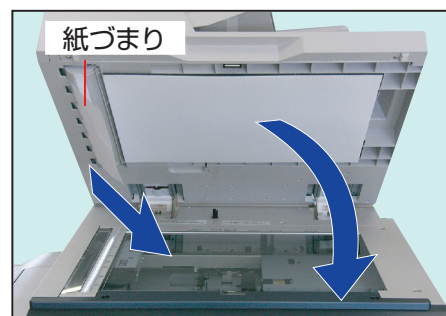
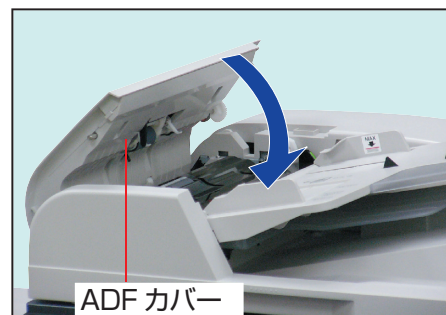
① ADF カバーを開く

②紙づまりを取り除く

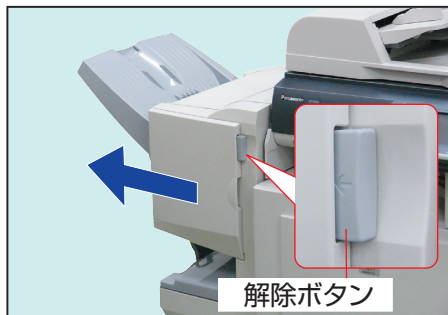
2 内側のカバーを開き、紙づまりを取り除く

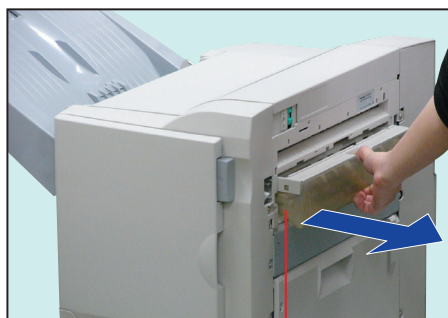
①黒い内カバーを開く

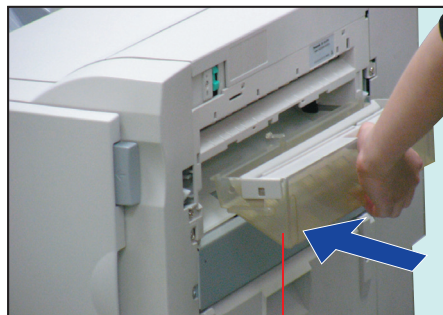
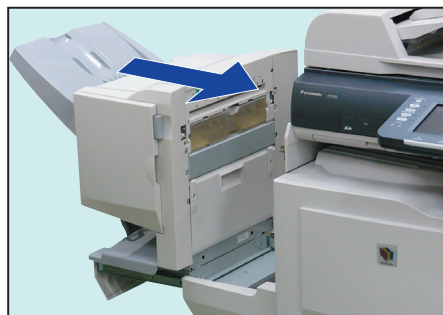
②紙づまりを取り除く

3 ADF 原稿台を持ち上げる

4 排紙ガイドを開き、紙づまりを取り除く

5 紙づまりを取り除く

6 排紙ガイドを閉じる

7 ADF 原稿台を下げて、黒い内カバーを閉じる

8 ADF を開く

9 用紙送りつまみを背面から見て時計回りに回す

10 紙づまりを取り除き、ADF を閉じる

11 ADF カバーを閉じる

パンチ屑を捨てる（1ビンサドルフィニッシャーにパンチユニットを装着している場合）

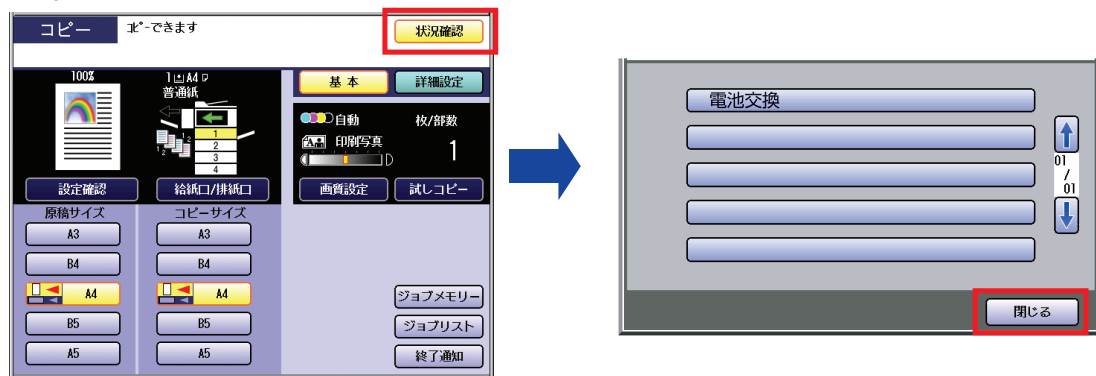
パンチ屑でパンチ屑容器が一杯になると、タッチパネルディスプレイに、パンチ屑容器満杯のエラーメッセージが表示されます。この場合は、次の手順でパンチ屑を捨ててください。

1 フィニッシャーを左側に移動する

- 本体からフィニッシャーが離れるよう、解除ボタンを押します。

2 パンチ屑容器を取り出す

3 パンチ屑容器のパンチ屑を捨てる

4 パンチ屑容器を取り付ける

5 ロックされるところまでフィニッシャーを移動する

電池を交換する

本機には日付･時刻表示用の内蔵電池が搭載されています。
電池の残量が少なくなると、タッチパネルディスプレイに「アラームの内容は「状況確認」を押すと確認できます」のメッセージが表示され、[状況確認] ボタンが黄色になります。このボタンを押すと選択ボタンに「電池交換」が表示されます。この場合は、次の手順で電池を交換してください。なお､電池は当社指定のものを必ず使用してください。(指定品番:CR2032)

お願い

● 電池のお取り扱いについては、『取扱説明書（基本編）』の「安全上のご注意」を参照してください。

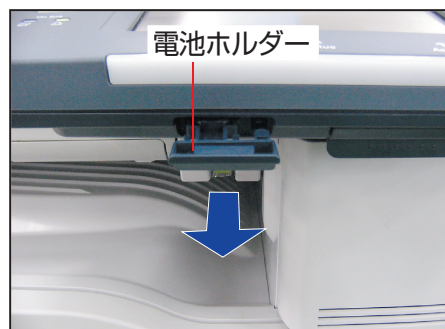
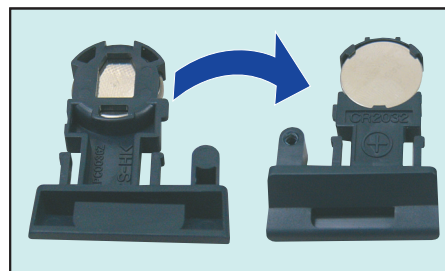
1 操作パネルの裏側にあるネジを、ドライバーで外す

2 電池ホルダーを取り外す

3 電池ホルダーを裏向きにする

4 古い電池を取り出す

5 電池ホルダーに、新しい電池を取り付ける

6 電池ホルダーを表向きにして、電池ホルダーを本体に取り付ける

7 ドライバーでネジをとめる

日付と時刻を設定する

日付や時刻がずれていたときは、次の手順で日付と時刻を設定してください。電池の寿命は、本機の電源が切れた状態で約 1 年です。

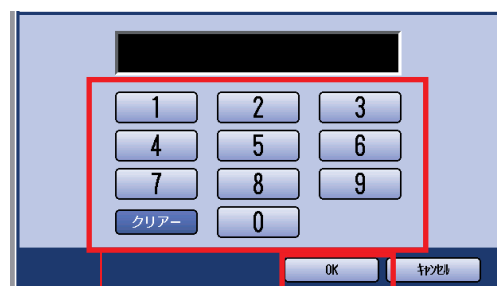
● 本機内部の時計は、月に約 1 ～ 2 分程度のずれが生じることがあります。

1 **<ファンクション>を押す**

2 ［共通機能設定］を押す

3 ［5 - 9］を押し、［09 キーオペレーター専用］を押す

① 5 - 9　② 09 キーオペレーター専用

4 キーオペレーターのパスワード（4 桁）を入力し、[OK] を押す

② ［OK］を押す

①パスワードを入力する

5 [20 - 39] を押し、[22 日付時刻の設定] を押す

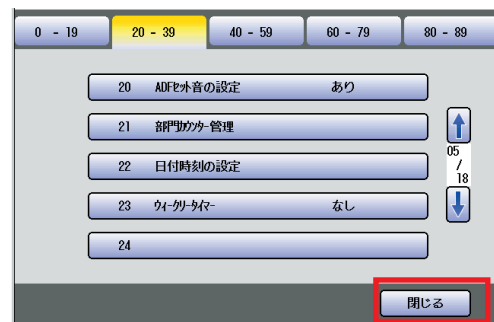
① 20 - 39　② 22 日付時刻の設定

6 [入力] を押し、テンキーで日付と時刻を入力する

① [入力] を押す

②日付、時刻を入力する

7 [OK] を押す

8 [閉じる] を押す

9 <リセット>を押す

機能設定をする前の機能に戻ります。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　　月　　日	品番 DP- C262/C262F/C322/C322F
販売店名	電話（　　）　　ー	
サービス実施会社名	電話（　　）　　ー	

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
オフィスネットワークカンパニー

〒153- 8687 東京都目黒区下目黒 2- 3- 8　　電話（03)3491- 9191

L0505-2115
PJQMC0510YB
Nobember 2005
Published in Japan